

1

1(1)b (2)d (3)a (4)c (5)b

2 c, e, h

【PMD Original 解説】

1

1

- (1) 1 段落 4 行目の **avoidable disease** と同じ意味を入れる。preventable「防ぐことができる」が最適。空所に入る単語の意味だけで解くより言い換えを探すことが久留米の解答への近道です。
- (2) 関係詞の先行詞である **ailment**「病気」の意味が分かれば、be ( ) to を挟んで結果⇄原因の構図ができる。attributed か induce で迷うが原因 is induced by 結果、もしくは、原因 is induced to 結果とならなければならないため、A be attributed to~「A は~のせいである」が最適。
- (3) However を挟んで、however 以前にある increase や topped の反対を探すと解きやすい。直接的な対比ではないが、decline を入れれば文脈が通じることは明白。また次の段落に number があり、それを修飾しているのが decreasing であることにも注目。
- (4) be compounded with「~と混ざり合う」。compound は「化合物」の意味で金沢医科大などの過去問でよく登場するので、このイメージで動詞を導き出せた人は文脈判断で選べるはず。食事の量と運動をしないことが混ざり合って問題となっているよと言いたいのでしよう。
- (5) 後ろを見ると 60→64→71%と増えており、それを比喩的に epidemic「流行している・広まっている」を用いて表現している。「病気の拡大」と考えて消した人も多かったと思う。

2

- (a) 4 段落の goes down と矛盾。
- (b) not as serious がおかしい。
- (d) 書かれていない。
- (f) exclusively「独占的な」が蛇足。本文では take center stage「注目を集めている」とあるのみ。
- (g) resolved「解決された」はおかしい。

2

(1) c-d-b

the holiday is for those about to turn 20 years old to commemorate their becoming adult in Japanese society

(2) e-a-c

high popularity of this holiday is that youth take part in ceremonies and school gatherings held across

(3) e-f-c

responsibilities such as paying their college tuition on their own and paying their own way in life

3

(A) この方法は採点をするには便利であるが、記述を求められるテストほどには、生徒の文章力を評価できないと批判されている。

(B) French students take tests to evaluate their skill of logical writing.

解説 後ろに受身の形で **a test is taken** とあるのでそれをもとに戻す形が一番簡単。上に **to test applicant's knowledge** とあるのでこれを使いたいけど **test to test** となると違和感を感じる学生もいるだろう。それならば(A)にある **evaluate** を使えばよい。上にも **skill** とあるので私は「能力」を **skill** で表現した。

4

1 (a) 2 (c) 3 (a) 4(b) 5(d)

5

(b) (c) (d) (g) (h)

6

(1) b (2) c (3) a (4) d (5) d (6) a (7) c (8) a (9) b (10) b

7

(1) c (2) c (3) b (4) b (5) a (6) c